

平成 22 年度第 2 回田辺市男女共同参画懇話会会議録

開催日時 平成 23 年 3 月 30 日（水）午後 1 時 30 分～午後 2 時 40 分

開催場所 田辺市民総合センター 4 階交流ホール

出席委員 坂本委員、山下委員、松本委員、羽根委員、安達委員、瀧本委員、金川委員、良原委員、須本委員

欠席委員 那須明委員、小森委員、恩地委員、明楽委員、滝谷委員、松井委員、那須正委員、峯上委員

出席職員 山崎部長、杉若室長、坂井主査

傍聴者 なし

内 容

1 報 告

- ・ 新しく就任された委員の紹介（田辺市民生児童委員協議会から小森委員）
- ・ 副会長からいただいたコメントを紹介

2 議 題

- （ 1 ）平成 22 年度田辺市男女共同参画センターの事業報告について
別冊「平成 22 年度事業報告書」に基づき、事務局から説明
- （ 2 ）その他

主な意見等

会 長：平成 22 年度の男女共同参画センター事業について多岐にわたって報告を受けたが、前回の懇話会において、懇話会委員もセンター事業に積極的に参加しよう、という提案があり、私も極力、講座や講演会に参加させてもらった。

今、気がついたことだが、22 年度に開催したいろいろな事業は、前年度に出た意見を十分反映して行われている。素晴らしいことだと思う。

B 委員：「農業に活かす女性の力」の講座報告を受けたが、倉岡さんの大変素晴らしい話を私も聞いたことがある。JA 紀南に呼びかけをされたということであるが、もし、来年度も農業に関する講座を行うのであれば、本宮には、みくまの農業協同組合、龍神には紀州中央農業協同組合と、合併した田辺市には三つの農業協同組合があるので、そこへもさらなる呼びかけをしてもらえればと思う。

私は保育園で保護者会の役員をさせてもらっているが、特に本宮と龍神のへき地保育

所で給食ができていなかったため、保護者会から給食の実施について強い要望があった。働くお母さん方から、ぜひ実施してほしいという声を受け、去年いろいろとりまとめ、なんとか新年度予算に組み入れ、10月ごろから給食が実施される運びとなった。これで市の保育所全部でスタートすることになったので、そのことについても報告をさせていただきます。

C委員：会長がおっしゃったように、講座・講演会は、いただいた意見を踏まえながら、なおかつ、アップ・ツー・デートな事業を展開されていることに、まず敬意を表したい。個人的には、津止先生の男性介護の講座や、小崎先生のパパの子育て講座は、ぜひ参加したかった。非常に質の高い講座だと思うので、素晴らしいことだと思う。男女共同参画推進員が企画をされたということで、推進員の意見も踏まえながら、きちんと行っていただいているのだなと思った。

少し詳しく内容が知りたいと思うのは、ジェンダーブレイクあいあいさんがされた男女共同参画パネルディスカッションである。報告書の写真では、皆さんが手持ちの紙を挙げていますが、どのような形でパネルディスカッションをされたのか聞きたい。

今までは女性の職業と思われていた分野に男性が従事している、反対に男性の職業と思われていた分野に女性が従事しているという方たちに来てもらい講座を行うのは非常によいことだと思う。

男女共同参画センター主催の講座・講演会に参加された約半数の方は、今までセンター主催の講座に参加したことがなかった人だったということで、裾野が広がったということであった。今後、お願いしたいことは、その人たちに、また継続的に来てもらうにはどうすればよいのかというアプローチ法を考えればよいと思う。センターでも検討していると思うが、例えば、アンケートをとったときに住所を聞いているのなら、また関連した講座を開催するときに案内を出したり、講座の連続的なものを行ったりすると、何回も足を運んでいただけるのではないかと。パパの子育て講座に結構、男性が来てくれたということなので、いろいろなことを考えるよい機会になるのではないかとと思う。

講座の偏りについては、ほぼないような気がするが、田辺市の男女共同参画プランの施策体系でみたときに、この分野の講座は実施しているが、この分野は実施していないというような抜け落ちがあるかもしれない。それをチェックし、次年度の計画を立てていくというのもおもしろいかもしれない。

もう一点は、県と協力もしながらだと思うが、田辺市では年間14回の講座・講演会を実施している。これだけの事業を市町村の単体で行うというのは非常に大変なことだ。これがきちんとできているのは、和歌山県下では、和歌山市と田辺市だけだと思う。他の市町村では、男女共同参画に関する講座を年に1回開催できるかどうかという状況なので、このような積極的な活動はぜひ続けていただきたいと思う。そういったことから、市民の中でも男女共同参画に関して非常に見識がある方といわゆる初学者の方といろいろなレベルの方があると思う。今後は、その段階に合わせた講座の組み立てを少し意識

をしてもよいのではないかと、そういう時期にさしかかっているのではないかと思う。上級レベルの講座を市単体で開くのは難しいのかもしれないので、県と協議・協力しながら進めてもよろしいかと思う。

国の第3次男女共同参画基本計画では、「男性と子供にとっての男女共同参画」というのが目玉である。男性にとっての男女共同参画はもう取り入れられている。子供にとっての男女共同参画については、これはセンターで行うべきことなのかわからないのであるが、いわゆる教育の分野で男女に偏らない進路を目指す、将来のことを考えるという子供にとっての男女共同参画は必要だと思うので、中学生や高校生に足を運んでもらえるような講座を教育委員会と連携しながら行う必要があるのではないかと考えている。

事務局：先ほどのご質問のパネルディスカッションですが、これはD委員がファシリテーターを務めてくださったので、D委員からご説明いただければと思います。

D委員：本来であれば、パネルディスカッションにはコーディネーターがついて進めていくのであるが、私は、コーディネーターとファシリテーターを混合した形で行った。4人のパネリストから、それぞれ現在の職業に就いたきっかけや、なぜこの職業を目指そうと思ったのかなどを伺った。例えば、男性の職業と思われていた職業に就いた女性消防士さんであれば、着替えの場所や、お風呂はどうなのか、女性の目から見て今まで女性が働いていなかった職場で仕事をするのは大変ではないかという話をしたら、実際に仕事に就いてみると、逆に男性側が遠慮されている部分も多くあったということを知った。それぞれ4人の話を聞かせてもらったあとで、会場からも質問を受ける形にした。

この写真については、全員参加型パネルディスカッションという形で、よくクイズ番組などでパネルに答えを書いて見せてくださいというものである。例えば、「今度、生まれ変わるとしたら、違う性がよいですか。」という質問に対して答えを皆さんに書いてもらい、それを挙げてもらったものである。その後で、「パネリストの方たちはどのように答えているでしょうか。」と、4人の方に話をしてもらう形で進めた。

C委員：参加型は会場も盛り上がるし、おもしろいと思う。

事務局：将来、職業に就く中学生に聞いてもらいたいと思ったし、中学校では職場体験を実施しているため非常に参考になると思ったので教育委員会に呼びかけたのですが、日程がちょうど新人戦と重なってしまい、参加してもらうことができませんでした。

C委員：中学生はインターンシップとか職業体験を行っているのですが、こういう職業に就いている女性や男性もいるのだということを知ってもらえれば非常によいと思う。

D委員：笑い話になるのだが、高校生や若い方たちが参加してくれればという希望があったので、最後のパネリストへの質問を「ぜひ、次世代の方たちにメッセージを」と進めたが、開口一番、看護師の方から「若い方は居ないけど・・・。」と言われ、「きっとお孫さんたちや、若い方たちにもお話をさせていただけます。」と言う場面もあった。

事務局：小崎先生の「パパの子育て、家族の子育て」講演会については、「親子体操教室」に参加された方々にも案内をし、参加していただきました。

いろいろなレベルや、段階に合わせた講座の開催は、田辺市ではなかなか難しいところがあると思いますが、ジェンダーブレイクあいあいの会員の皆さんにご希望の講座についてご意見を聞かせていただき、県とタイアップして開催できるような講座があれば考えていきたいと思います。

C委員：県も地域の自主講座に対して補助金は少ないが、手挙げ方式で出したりしているので、そういったものを活用すればよいのではないかなと思う。

E委員：今までいろいろな男女共同参画に関する講座や研修会があったが、とにかく参加することが大事だと思い、必ず友人を誘って参加するよう努めている。研修会の入口は100あったとしても、出口は一つ、男女共同参画という気づきが大切だと思う。男女共同参画の根底にある優しさや、思いやりの心で男女が互いに助け合い支え合っていくという人権尊重の意識を持つことが大切だと思っている。

先日、地域で人権学習会を行った。会長さんたちを講師に招き、「デートDV」についての講座を開催した。学校などいろいろなところへ案内チラシを持ってお願いに行ったら、当日は地域の中学校の先生はじめ大勢の方々が参加してくれた。来年度は、中学生を対象としてこのような講座を持ってくれればよいのではないかなという話も出たので、よかったと思っている。

会 長：「カウンセリング講座」のところで「ニュースタート」のことが記載されているが、これはDV被害者を支援する団体である。

最近、よくいわれている「デートDV」については、1回目はソロプチミストで話をし、2回目は地域へ出向いて行った。もっともっと学習をしながら、こういう形で地域の子供たち、学校の生徒たちなど子供向けに力を入れていかなければと思っているところである。

F委員：いくつか参加させていただこうと思っていたが、昼間の開催だったのでなかなか参加できなかった。JAなので農業に関する講座でなければ参加はなかなか難しい。「農業に活かす女性の力」は参加した人たちが、「よかったよ。」と言っていた。地域交流学習会を町内会館で行ったということであるが、地域でこのような学習会を行うことはよいと思う。

G委員：去年、初めてこの懇話会に入り、講座の開催案内をその都度もらったので、どういう事業をしているのかがよくわかった。スケジュールを見て空いていれば参加させてもらい、よかったと思っている。

「農業に活かす女性の力」は3回シリーズの講座で、3回とも行きたいと思ったが、2回目が参加できず、3回目も楽しみにしていたが、急に中止となり残念であった。

「男性の介護を考える講座」では、本宮まで来てもらい非常によかった。3箇所で開催し、旧田辺市での参加者は45名、本宮での参加者は44名だったので、本宮もやるなあと考えた。私もがんばって案内チラシを配り「来てね、来てね。」と大分誘った。やはりそういう宣伝というか、クチコミというのが効くと思うので、懇話会委員も使わな

いといけないと思った。

市野先生の話シニアリーダーカレッジでよく聞くが、非常に良い話をしてくれる。ぜひ本宮に市野先生を呼んでいただき、いきがいつくりや、笑顔が大事であるという話をしてほしい。

会 長：どうしても旧田辺市中心の開催となってしまうが、創意工夫を凝らし、いろいろな補助金を使い、また、本宮、龍神へも出かけたほうがよいと思う。

G委員：本宮から市民総合センターへはなかなか来れない。

H委員：郡部へ出向くのはなかなか大変であるが、本宮、龍神、中辺路、大塔とあるので、これは本宮で行えばよい、これは龍神で行えばよいというように、地域、地域に適したテーマがいろいろあると思う。子育てなどは、どこで行えばよいとは言えないので全体的にすればよいけど、農業などは貧しくなっているところもある。子供たちにはおじいちゃんや、おばあちゃんたちの仕事を継いでいくのだというような心強い気持ちを持っていけるようなことが必要ではないか。学校を卒業すればみんな都会へ出て田舎には居なくなる。本当に田舎は寂しくなるばかりなので、子供たちもおじいちゃんや、おばあちゃんたちが居るうちに仕事を継いでいこう、体験して継いでいこうというように何かできることはないのかなと思う。今は少子高齢化という難しい時代だから、子供もなかなか居ないので大変だと思うが、田舎でそのような講座というのは何があるのかなと思う。旧市内だと集まりもよいので、旧市内に合った講座になるが、本宮との違いもあるため、それはそれでプログラムを立ててもらいやってもらえればありがたい。

会 長：過疎の高齢者が多い中でしっかり地域を守っていただいております、過疎を心配する福祉協議会の理事としての気持ちを含んでの発言であったと思う。

C委員：今の段階で平成23年度の事業はどういった形のものを進めていこうというような計画が決まっているのなら教えてほしい。

事務局：男女共同参画連絡会や男女共同参画推進員の皆さんがそれぞれ企画講座を考えてくださっているので、それらとテーマが重ならないように考えていきたいと思っております。また、懇話会委員の皆さんからいただいたご要望や、ご意見も取り上げていきたいと思っております。

会 長：平成23年度の講座に向けていろいろな提案がされたと思うので、その点もよろしく願います。

事務局（部長）：一言、御礼を申し上げます。

委員の皆さまには年度末で大変お忙しい中、懇話会に参加していただきまして、ありがとうございました。平成22年度の取組につきましては、一定の評価もいただきながら、大変中味の濃い貴重なご意見をたくさんいただきました。平成23年度の事業計画にもできる限り盛り込んでいきたいと考えております。

委員の皆さまの任期についてですが、明日3月31日までの2年間とお願いをしていますが、懇話会設置要綱に、委員の任期が満了した場合におきましても後任者が就任す

るまでの間、引き続き職務をお願いすることになっておりますので、よろしく願いいたします。

委員の皆さまには2年間にわたりまして、大変ご協力をいただきましたこと、厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

また、事務局の異動があり、4月1日から新しい体制でさらなる充実を目指して男女共同参画に積極的に取り組んでいきたいと思っております。より一層のご支援、ご協力をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

本日はどうもありがとうございました。